

優しく強い子に!



http://www.minamih.net/
22・3・22(火)
南NEWS no 118

JGK杯 6年生 葉山卒業カップ

3月19日(土) 葉山南郷上ノ山公園

- めあて
 - ・5つ観て判断 ・コーチング
 - ・できないことにチャレンジ ・パス&ムーブ



この日参加したダイスケ君・カイリ君・カツヤ君の3人の6年生は、中村元コーチとの最後のミーティングでした。めあてを決めました。



◎予選リーグ 15分ハーフ

☆◇3人の6年生◇南八王子 1-2 城北ファイターズSS 前半0-1

得点:ユウセイ君

前半1分、トップのユウゴ君が激しく相手陣内のボールを追って相手を慌てさせます。どちらもシュートがないまま南やや優勢に進んだ同8分、相手クロスが味方DFの足に当たってオウンゴール。グラウンドがかなりぬかるんでいたとはいえ、もったいない失点。

v s 城北戦



後半8分、自陣ハーフライン付近で相手ボールをカットしたCHユウセイ君が相手二人を体で押さえながら振り切り独走、GKとの1対1を落ち着いて決めて同点。同11分、右サイドを右SHカツヤ君がドリブル、フォローした右SBカイリ君がさらに運んで、最後はトップのハヤト君がグラウンダーのクロス、フリーで受けた左SHショウマ君のシュートは枠の外。この後、右からのクロスでもう一度ビッグチャンスがありましたが決められず、同15分、CBユヅキ君が突破されそうな場面でなんとか外へ蹴り出します。そのCK、弾んだボールを収められずに押し込まれ、決勝点を奪われてしまいました。

☆◇南八王子 0-3 葉山ジャパン 前半0-1

前半2分、右SHコウヨウ君がスピードで突破し、強いクロスを入れますが合わず。同3分、相手の弱いシュートを止められず失点。後半2分、右サイドからクロスをきれいに合わされ失点。相手のワンツーを交えた速い攻撃に後手にまわる時間が増えます。同3分にも右サイドをドリブル突破され、カバーが間に合わずさらに失点。

◎5-6位決定戦 15分ハーフ

☆◇南八王子 0-1 腰越 前半0-0

互角の戦いでしたが、後半、クロスから決勝点を奪われました。★試合を振り返って6年生にとって最後の対外試合でした。昨年12月以来ずっと試合が

できませんでした。最後は姉妹チームの葉山JGKの大会で締めくくられたことを感謝しています。結果は6チーム中最下位でしたが、人数が揃わない6年生に5年生が加わってAクラスを戦ってきた2年間を思うと、選手たちはすばらしく成長したと思います。



v s 葉山緑戦

今日は6年生が3人、後は5年生でしたが、他の6年生チームにまったく臆することなく、チャンスをたくさん作り、どの試合もしっかり勝負できるようになりました。

1試合めの城北は、先に行われた葉山ジャパンとの試合を見て、体の大きい選手がいてキック力があり、サポートの位置に入る意識も高いチームでもっと苦戦するかと思っていました。でも、実際に戦ってみると決定的なチャンスは南の方が多く、勝ってもよい内容でした。

めあてに挙げていた「パス&ムーブ」ですが、パス&ムーブのわかりやすい形であるワンツーがもっと見られたらと思います。トラップがずれても無理やりに蹴ってしまうくせがある選手が多く、パスがずれるので受ける方もトラップがずれ、と悪循環が続いてしまっています。しっかり踏み込んで蹴っていないので、蹴った後に重心が崩れて体を動かさなためスムーズな次の動きができません。パスを出した足がムーブの一步になるよう、まず崩れたフォームでパスするくせを直しましょう。

◇目当ての達成◇

「5つ観て判断・コーチング」については、首を振る習慣をもっと練習からつけましょう。コーチングの意識は高くなっていると感じました。

「できないことにチャレンジ」は、皆がそれぞれ意識してできたのは素晴らしいと思います。

◇3人の6年生◇

☆ダイスケ君は久しぶりの実戦で、少し感覚を忘れていたところもありましたが、さすがのビッグセーブを随所に見せ、フィールドプレーヤーとしても積極的なプレーができました。楽しくやれたら何よりだと思います。

☆カイリ君は、広い範囲をよくカバーしました。ポジションを離れすぎのときもありましたが、ほとんどの場面でサイドにフタをしていました。ボールを奪った後のステップオーバーターンはどの相手もきれいにかわっていました。

☆カツヤ君はをよくがんばりましたところどころでダブルタッチや椅子の形を連続で繰り出す、キレのあるドリブルを見せました。これから筋力、走力がついてくれば、さらに持ち味が発揮できると思います。最後のキャプテン。



優秀選手賞はカツヤ君、カイリ君でした。6年間がんばりつづけた二人がしっかり南の選手らしいプレーを見せました。「二人には心から「おつかれさま」と思います。

b y 中村元コーチ



